パブリックコメント制度の見直しに係る論点整理表（概要）

資料番号３

パブリックコメントへの提出数が少ない

目的（例）
○提出数の数値目標
○反映数の数値目標
○町民の意向のわかる仕組みづくり
⋮

②

- 条例案・計画案の作成段階
  - 他の仕組みとの併用
    - ●町長への手紙などのデータベース化
- 周知
  - 量の拡大
    - ●周知方法の拡大（タウンニュース）
    - ●広報・ホームページで定期的な周知を行う
    - ○配架場所の検討
  - 質の向上
    - ●若い世代向けに魅力的な内容にする　●難解な計画には事前 PR を重点的に行う
    - ●当事者意識を喚起するような周知や資料作成
    - ●計画ごとにどの世代等にアプローチする必要があるか検討する
- 期間中
  - 実施期間
    - ○期間（30 日以上）の見直し
    - ○時期（早い時期に行うなど）の見直し
  - 資料
    - ●難解な資料に対して解説を加える・より身近な内容にするなどといったフォローをする
    - ●意見を出しやすくする工夫（案作成に伴う論点を公表）
  - ターゲット
    - ●計画ごとにどの世代等にアプローチする必要があるか検討する（再掲）
    - ●NPO やボランティアに意見を求める
  - 意見の提出方法
    - ●住民説明会の開催
    - ○回答方法の簡略化（選択式）
  -
- 結果の公表
  - 意見への回答方法
    - ●公表だけでなく、意見提出者本人にも回答を直接郵送する
    - ●回答を報告する場を設ける
    - ●結果報告会を開催　○受付終了から結果の公表までの期間を短くする
  - 反映内容
    - ●出された意見の一部でも反映する
    - ●「意見なし」でもどのような「意見なし」なのか峻別する仕組みが必要
  -

①

※　●は「委員から」　○は「事務局から」の見直し案です。